



IMAGINEER

2020年3月期第1四半期 決算短信補足資料

2019年7月31日
イマジニア株式会社
(JASDAQ:4644)

構成

- 決算概況
- 連結損益計算書 2期比較
- 連結売上高及び利益の推移
- セグメント情報
- セグメント売上高の推移
- トピックス

決算概況

(百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前期	
			増減	増減率(%)
売上高	951	1,067	△116	△10.9
営業利益	73	73	△0	△0.9
経常利益	71	154	△82	△53.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40	109	△69	△63.5
包括利益	0	147	△146	△99.4
1株当たり当期純利益 (円)	4.17	11.44	△7.27	—

	2020年3月期 第1四半期末	2019年3月期末	対前期	
			増減	増減率(%)
総資産	10,453	10,671	△217	△2.0
純資産	9,689	9,809	△119	△1.2
自己資本	9,596	9,721	△125	△1.3
自己資本比率(%)	91.8%	91.1%	—	—

連結損益計算書 2期比較

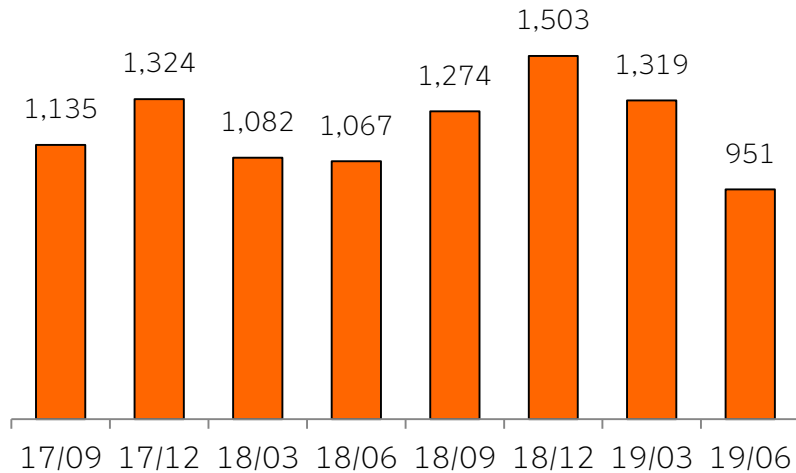
(百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
売上高	951	1,067	△116	△10.9	
売上原価	398	479	△81	△17.0	
販売費及び一般管理費	479	514	△34	△6.7	
営業利益	73	73	△0	△0.9	
営業外収益	23	83	△59	△71.7	
営業外費用	25	2	+22	+852.8	
経常利益	71	154	△82	△53.7	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	—	—	—	—	
税金等調整前 四半期純利益	71	154	△82	△53.7	
税金費用	25	44	△19	△43.2	
四半期純利益	46	110	△63	△58.0	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	40	109	△69	△63.5	

連結売上高及び利益の推移

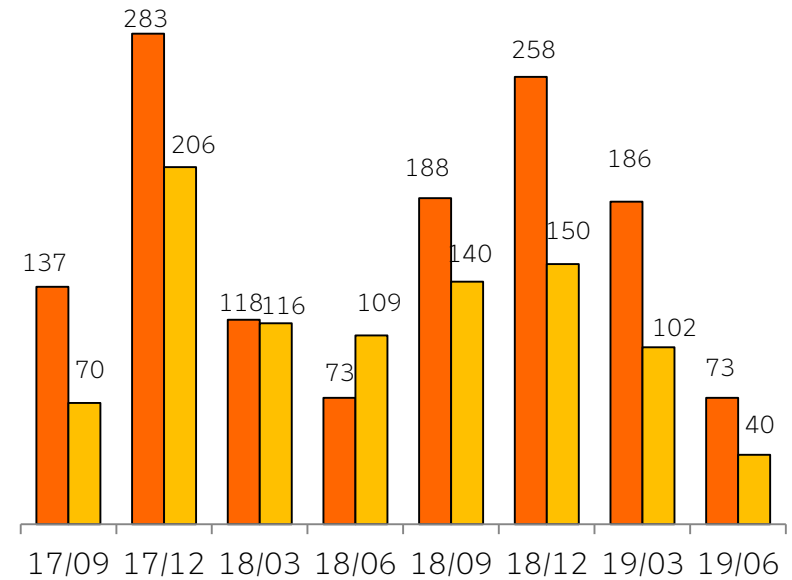
売上高

(百万円)



営業利益および親会社株主に帰属する四半期純利益

(百万円)



■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント情報

(百万円)

■ 売上高

	2020年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
コンテンツ	950	1,067	△116	△10.9	
再生可能エネルギー	0	0	+0	+6.0	
合計	951	1,067	△116	△10.9	
調整額	—	—	—	—	

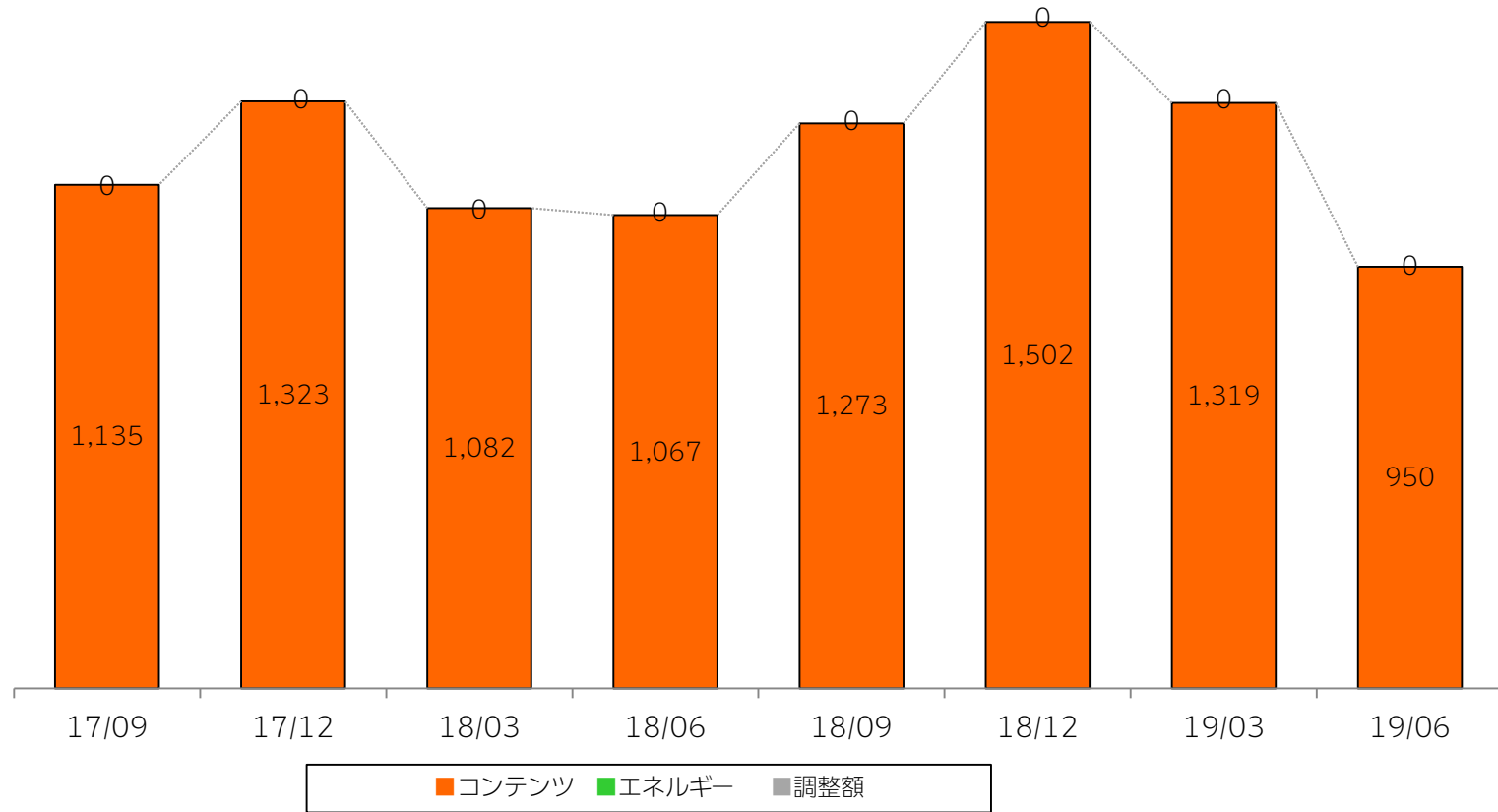
■ セグメント利益(営業利益)

コンテンツ	164	164	+0	+0.2	
再生可能エネルギー	△9	△15	+5	—	
合計	155	149	+5	+3.9	
調整額	△81	△75	△6	—	

セグメント売上高の推移

売上高

(百万円)



トピックス

Nintendo Switch ソフト「Fit Boxing」 全世界累計出荷販売 本数30万本突破

2019年4月にNintendo Switch™ソフト「Fit Boxing」(国内版)及び「Fitness Boxing」(海外版 発売元:任天堂株式会社)の全世界の累計出荷販売本数(※)が30万本を突破しました。

その後も、4月25日から5月8日にかけてマイニンテンドーストアとニンテンドーeショップにて実施された「Nintendo Switchゴールデンウィークセール」で大きく販売数を伸ばすなど、好調なセールスを継続しております。引き続き、さらに多くのお客様に楽しんで頂けるように、ユーザー参加型のイベントや、フィットネスや健康に関わるサービスと連携したプロモーションを積極的に行って参ります。

※全世界累計出荷販売本数とは、各販売地域のパッケージ版累計出荷本数並びにダウンロード版の累計配信本数を合算した本数となります。



*Nintendo Switchのロゴ・Nintendo Switchは任天堂株式会社の商標です。

トピックス

キャリア主導サービスの新サービス提供開始

スゴ得コンテンツ、auスマートパス等のキャリア主導サービスについては、第1四半期に2つの新サービスを開始しました。

今後も新サービス提供を促進し、積極的に展開して参ります。



マンガほっとforスゴ得
5月21日提供開始



カピバラさん for auスマートパス
6月6日提供開始



IMAGINEER

本資料には将来的予測に関する記述が含まれています。これら記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。多くの要因の変化等により、実際の業績等は、将来的予測とは異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。